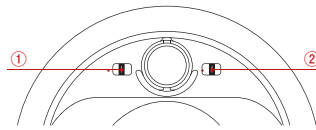


屋外用人感センサ

G型センサ

■G型センサの形状と調整方法



①動作設定ツマミ

・点灯照度設定(切)
左…終日オンオフモードに設定
中…連続点灯モードに設定
右…テストモードに設定

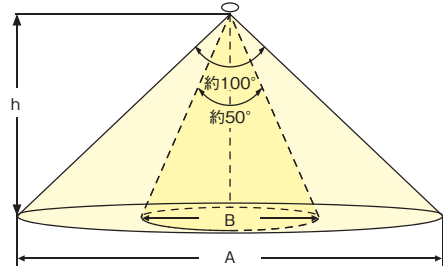
・点灯照度設定(明)(暗)
左…夜間オンオフモードに設定
中…6時間調光タイマーモードに設定
右…調光モードに設定

②点灯照度設定ツマミ

左(暗)…約15lxで点灯
中(明)…約45lxで点灯
右(切)…明るくても作動します

※点灯照度設定ツマミを切の位置にし、動作設定ツマミをテスト位置にすると、昼間でも簡単に感知エリアの設定ができます。

■G型センサの感知エリア



【エリアカットマスク】

同梱されている
エリアカットマスクを
取り付けることで、
感知エリアを調節できます。

■ エリアカットマスクなし
■ エリアカットマスクあり

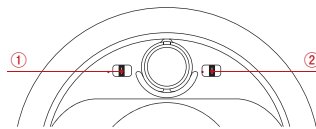
	A	B
h	2.0	2.0
	5.0	2.5
	6.0	2.5
	7.0	3.0

※感知エリアが広すぎてなかなか消えない場合はエリアカットマスクを取付けてください。

■G型センサ感知エリアの設定

下図のように点灯照度設定ツマミを「切」に、動作設定ツマミを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行ってください。

テストモード



①点灯時間設定ツマミ

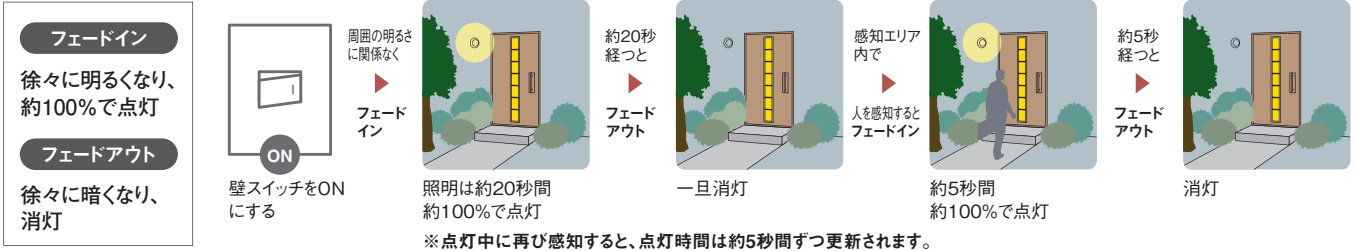
左…夜間ON-OFFモードに設定
中…6時間調光タイマーモードに設定
右…調光モードに設定

②点灯照度設定ツマミ

左(暗)…約15lxで点灯
中(明)…約45lxで点灯
右(テスト)…テストモード

※動作設定ツマミをテストの位置にし、照度設定ツマミを切の位置にすると、昼間でも簡単に感知エリアの設定ができます。

- ①電源投入後、約20秒間点灯し、その後は明るくても人を感知するごとに約5秒間点灯します。結線および負荷の動作を確認できます。
 - ②明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約5秒間点灯します。
- ※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。



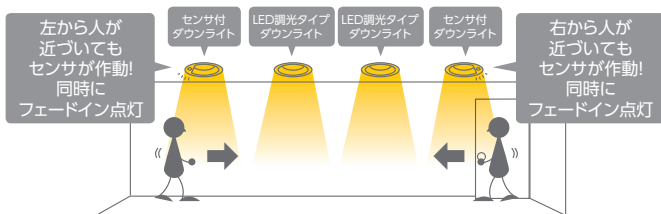
■G型人感センサLEDマルチタイプの多箇所検知・動作連動配線図

多箇所検知を行う場合は以下の例に従って配線を行ってください。最大接続台数は、G型センサ付ダウンライトとLED6.0W 5台又は、8.8W調光タイプを含み3台までです。

※電源端子及び連動端子の極性は必ず合わせてください。極性が合っていないと器具の破損及びブレーカーが落ちます。※連動端子に電源線を接続しないでください。※器具の間隔は各1m以上離して設置してください。

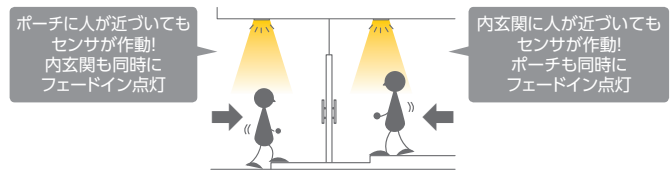
■直線の廊下の場合

廊下の両端にセンサ器具、間に連動子機を設置。どちらからの導線にも、対応可能です。



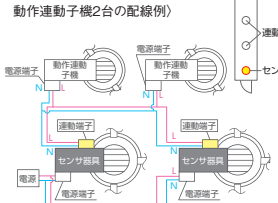
■ポーチと内玄関の場合

それぞれにセンサ器具を設置。中から外、外から中への移動時にスイッチ操作なく明るさの確保が可能なため、スムーズな移動が可能。荷物で手がふさがっている際にも便利です。



■動作連動配線図

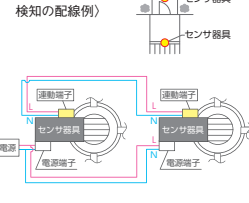
(センサ器具2箇所検知+動作連動子機2台の配線例)



※極性は必ず合わせてください。

(配灯図)

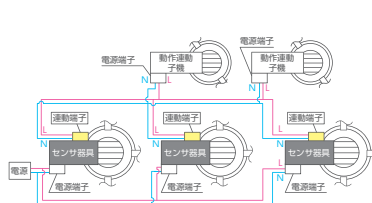
(センサ器具2箇所検知の配線例)



※極性は必ず合わせてください。

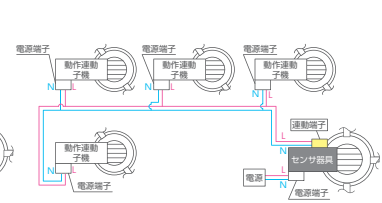
■その他の配線接続例

(センサ器具3箇所検知+動作連動子機2台の配線例)



※極性は必ず合わせてください。

(センサ器具1箇所検知+動作連動子機4台の配線例)



※極性は必ず合わせてください。